

# 令和5年度琉球大学法科大学院

## B日程 法学未修者コース記述式試験 問題

令和4年 11 月 13 日(日曜日)

10 時 00 分～10 時 45 分(45 分)

### 注意事項

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いのないように受験してください。

- 1 試験開始後、問題文に不具合があれば直ちに申し出てください。
- 2 記述式試験用の解答用紙を用い、答案の何枚目であるかを示してください。  
また、答案に用いたすべての解答用紙の所定欄に、受験番号と氏名を記入してください。
- 3 黒色または青色であれば、筆記用具は問いません。ただし、鉛筆書きの場合は文字が薄くならないように十分注意してください。
- 4 試験開始後は、途中退席できません。必要があるときは、監督者に申し出てください。
- 5 試験終了後、解答用紙を回収するので、指示があるまで席を立たないでください。
- 6 その他は、すべて監督者の指示に従ってください。

### 【問題】

次の文章は、『実力も運のうち 能力主義は正義か?』（マイケル・サンデル著，鬼澤忍訳。早川書房，2021年）の一節である。後の問いに答えよ。

### 【記述】

(省略)

【設問】

問 1 (15 点)

筆者は、下線部の「結論」を「誤っている」と考えているが、その主張を要約して述べよ。能力主義的倫理が人々にどのような意識をもたらし、それがどのような意味で民主主義を損なうと筆者は考えているのかに留意して説明せよ。

問 2 (30 点)

こんにち、分断と対立が社会問題として注目されることがある。この点について、具体例をあげて、あなたの考えを述べなさい。

以 上

【出題趣旨】

社会において肯定的に捉えられることが多い考え方につき、それが過度に一般化された場合に社会にもたらす負の側面について論じた文章を読解させ、その理解を問い、抽象的な論理の展開を追う能力があるかを測り、また、多角的な視点をもって自身の主張を説得的に展開する能力があるかを測ろうとするものである。

【採点基準】

問1

- |                  |        |
|------------------|--------|
| 1 下記のポイントを押えているか | 10点    |
| 2 まとめ方（論理性・表現）   | 5点     |
| 3 裁量点            | -3～+3点 |

(ポイント)

- ・ 民主主義は、前提として「社会的絆と市民的愛着」（「団体と連帯」）を必要とする。即ち、能力のある人もない人も、「社会的に評価される仕事の能力を身につけて発揮し、広く行き渡った学びの文化を共有し、仲間の市民と公共の問題について熟議すること」（「尊厳と文化のある生活」）ができなければならない。
- ・ ところが、「人はその才能に市場が与えるどんな富にも値するという能力主義的な信念」は、能力があるゆえに社会の「最上層にいる人」（「成功者」）に対しては、「自分は自らの成功に値し、最下層の人たちもその階層に値するという考え」を抱かせてしまう。

- ・ 人は、「どれほど頑張ったにしても、自分だけの力で身を立て、生きているのではな」く、「才能を認めてくれる社会に生まれたのは幸運のおかげで、自分の手柄ではない」のであるから、このような考えは正しくない。そして、能力のない人（「能力主義的な資格を持たない人」，「社会の恵まれないメンバー」）に対しては、「生きづらく，居場所がないように感じ」させる。
- ・ その結果，「政治に悪意を吹き込み，党派性をいっそう強め」（「われわれを分断する」），人々から，民主主義に必要な，「大きな公共の問題についてともに考える力を失い，互いの言い分を聞く力さえ」人々から失わせてしまう。
- ・ ゆえに，「自分の才能と努力の許すかぎり出世できる平等な機会」を与えられることは，「不正義を正すために道徳的に必要な手段」だが，「善き社会にふさわしい理想ではない」。

## 問2

- |                  |        |
|------------------|--------|
| 1 分断と対立の具体例      | 10点    |
| 2 多角的視点          | 5点     |
| 3 自説の論理性・説得性・表現力 | 15点    |
| 4 裁量点            | -5～+5点 |